

世界と日本の 難民問題



講師：滝澤 三郎氏

(元国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日代表、東洋英和女学院大学大学院 客員教授)

2015 年の秋、地中海トルコ沿岸に打ち上げられたシリア難民の少年の遺体写真はシリア難民への世界的な同情と反応を呼び起こした。ドイツのメルケル首相は「シリア難民は全て受け入れる」と宣言し、それを機に 100 万人を超す移民・難民が EU 諸国に流入した。しかしそれは東欧諸国を中心に強い反移民・反難民感情を巻き起こし、相次ぐテロ事件も加わって EU の政治危機、英国の EU 離脱、さらにはトランプ米国大統領の誕生にも影響した。

他方で、日本の難民受け入れは年間数十名にとどまり、長年に亘って「難民鎖国」と批判されてきた。なぜそのようなことが続くのだろうか？

本講演は、これら一連の事態に示される難民問題のダイナミズムを学ぶとともに、日本にいる私たちにできることを考える。

日時

2016 年 12 月 13 日 (火)
13:10-14:40 (3限)

会場

神田外語大学 3-301 教室

司会

水野 孝昭 先生
(本学国際コミュニケーション学科教授)

後援

神田外語大学
ボランティアセンター



講師経歴：東京都立大学大学院博士課程を経て法務省入省。カリフォルニア大学バークレー経営大学院修了後、1981 年国連ジュネーブ本部へ。UNIDO (国連工業開発機構) ウィーン本部財務部長などを経て 2002 年から 06 年まで UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) ジュネーブ本部財務局長。07 年から 08 年まで UNHCR 駐日代表。09 年から 2016 年まで東洋英和女学院大学院教授を経て現職。専門は、移民・難民問題、国際関係論。

主要著書：『難民を知る基礎知識』滝澤三郎・山田満共編著 明石書店 2016 年
「日本の難民政策：国際公共財の観点から」『移民政策』第 8 号 2016 年
「日本における第三国定住の現状と課題」『国際人流』2016 年 5 月号
“Financial Governance of UNHCR” 東洋英和女学院大学大学院紀要 13 号 2016 年



神田外語大学グローバル・コミュニケーション研究所

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp